

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		文化財活用事業		担当課	文化振興課	担当係	文化財保護係	管理番号	74113	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市文化財保護条例				
	小項目	3	郷土の歴史・文化の継承と活用							
	主要プロジェクト									
事業概要		文化財保護のためには市民による理解が不可欠である。文化財を調査した成果について、できるだけ多くの市民に対して情報を提供する事業を行う。また、貴重な文化財を後世に伝えるための支援事業を行う。								
目的 ※何のために		市内にある文化財を保存し活用するため。								
対象 ※誰・何を対象に		市民を対象とする事業と文化財の所有者に対する事業								
手段 ※どのように		文化財の公開講座の開設、無形民俗文化財の記録保存・体験事業、文化財に関する管理費補助								
成果 ※何を求めるか		文化財に対する保護や理解を得ることを目的とする。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	5	文化財費	無形民俗文化財後継者育成補助事業	372,000
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	5	文化財費	文化財活用事業	4,211,058
本事業の 主な業務		・指定文化財保存事業費補助							・文化財の管理費補助	
		・無形民俗文化財記録作成							・無形民俗文化財体験学習	
		・発掘調査説明会の開催							・国史跡幡羅官衙遺跡群の保存活用計画策定	
		・展示会の開催							・	
		・歴史講座の開催							・	
		・無形民俗文化財の後継者育成事業							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		幡羅遺跡保存活用検討民俗文化財後継者育成補助	幡羅遺跡保存活用の推進民俗文化財後継者育成補助	幡羅遺跡保存活用の推進民俗文化財後継者育成補助	幡羅官衙遺跡群整備基本計画策定民俗文化財後継者育成補助		
事業費	予算(現額)	14,426,000	8,050,000	5,406,000	7,963,000		
	決算額	10,611,259	4,583,058	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	424,300	166,400	70,000	70,000	
		一般財源	10,186,959	4,416,658	5,336,000	7,893,000	
人件費	従事職員数(人)	0.55	2.40	2.40	2.40		
	人件費相当試算※	4,269,053	18,886,937	19,671,329	19,671,329		
総事業費試算		14,880,312	23,469,995	25,077,329	27,634,329		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	文化財展示会回数	目標値	件	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	
		実績値	2.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		年2回の開催を標準とする。							
	実績値の算出式									
活動指標 2	発掘調査情報公開・現地説明回数	目標値	回							
		実績値	6.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		埋蔵文化財発掘調査概要の情報公開・現地説明をするため、目標値は設定しない							
	実績値の算出式									
活動指標 3	指定文化財管理・保存事業費補助金交付件数	目標値	件							
		実績値	40.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		目標値は設定しない							
	実績値の算出式									
成果指標 1	文化財展示会来場者数	目標値	人	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	
		実績値	1,600.00							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		1つの展示会あたり500人を目標とする。							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	企画展『武蔵武士の鑑 畠山重忠公』では、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に重要人物として登場した深谷市畠山出身の武将・畠山重忠公にまつわる出土品や活躍を紹介するパネル等の展示を行い、畠山重忠公の事績や人物像を広く顕彰することができた。併せて、市内の発掘調査において出土した考古資料を展示し、文化財に対する情報発信及び理解を深める機会を提供できた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	市内で行った発掘調査結果の概要を市ホームページにて情報公開し、埋蔵文化財について広く周知するとともに、埋蔵文化財の保存活用に取り組んだ。国史跡幡羅官衙遺跡群の保存活用については、公有化スケジュールに基づき、土地の鑑定評価を行い、土地買収費用の算出根拠となる標準土地評価額を決定した。これにより、総事業費の概算費用を算出し、用地取得方法等について関係部署と協議を行い、土地買収事務を進めることができた。
			評価者 文化財保護係長 田邊 恵美

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	埋蔵文化財発掘調査の概要について、市ホームページを活用しての情報公開を行い、歴史や文化財を学ぶ機会を提供することができた。
			評価者 文化財保護係長 田邊 恵美

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	現地説明会等の開催方法等を検討し、調査結果などを学べる機会を提供する方法を検討する。
達成状況及び その効果	短い発掘調査期間内での現地説明会の日程確保等、現地での説明会の開催が難しい状況となっているため、市ホームページに発掘調査結果を掲載し、広く情報公開を行うこととした。また、文化財の企画展等についても各種情報媒体を利用した情報発信を行い、文化財等に関する理解を深める機会を提供することができた。コロナ禍での開催であったが、市内外からの多くの方に来場してもらったことができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	文化財活用事業	担当課	文化振興課	担当係	文化財保護係	管理番号	74113
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		文化財の企画展等の開催、発掘調査の情報公開・現地説明など、歴史や文化財について学習し、興味関心を持てる事業を今後も展開していく必要があると考える。引き続き、文化財等の保護に取り組む。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	文化振興課長 吉岡 恵子				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	発掘調査の情報公開・現地説明等の実施方法や調査結果などを学べる機会を提供する方法を検討する。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	発掘調査の情報公開・現地説明等の実施方法を検討し、調査結果などを学べる機会を提供する方法を検討する。

8. 評価指標グラフ

